
遊びましょ！

小金沢 勉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊びましょ！

【Nコード】

N6723Y

【作者名】

小金沢 勉

【あらすじ】

科学も能力も魔法までもごちゃ混ぜの世界そのトップに君臨する「運命」彼の気まぐれより作られし制度「遊び」この制度は毎度選ばれる10名の強制参加者十鬼によって繰り広げられる「遊び」である。「遊び」とは楽しむものだ。

鬼ごっこ 上

今回の挑戦者達

1	秋山 孝太	男
2	神崎 滯	女
3	菊池 慎太郎	男
4	手塚 響	男
5	戸田 奈津子	女
6	沼野 太平	男
7	文野 紀伊	女
8	星 蛭	女
9	宮川 礼二	男
10	カフ・ルーニ	女

今回の遊びは「模倣」より「鬼ごっこ」に決定しました。

ルールは簡単。鬼を倒すか逃げ切るだけです。

ただし、制限時間以内に鬼に捕まった場合は罰が待っていますので、あしからず。

参加されない方はくれぐれもご注意ください。

制限時間は17..00~18..00です。

今日も頑張っていきましょう。

なお、今回の鬼は「超^{アクセラ}加速」です。

――1 秋山孝太――

おわった。俺は素直にそう思った。

自分が弱いのではない、相手が悪すぎるのである。

なんせ今回の相手はあの超^{アクセラ}加速なのだ。

今季オリンピックでは、100m, 200m, 800m, 1500m, 5000mにおいてすべて

金メダルを取るといふ超人いや化物技を見せたのである。
10000mだけは、体力が持たず二位に終わったが、それでも二位なのだ。

その上、奴はそれらの種目において世界新記録樹立している。

「フレア」が能力の俺にどう対抗すればいいんだよ!!

八つ当たり気味に俺は周りにあるものを壊した。

開始まで残り50分

――2 神崎 濤――

テレビに流れるテロップを見ながら、私は深い、深いため息をついた。

とうとう、選ばれてしまった。

今日の運勢は超ハッピー!とていいことあるかも。なのに超アンハッピーだと思う。やっぱり占いはあてにならないなあ。

まあ、自分の「逆転」の所為だと思うけど・・・

よし、いつまでも悔やんでも仕方ない。

作戦でも立てて、何とか生き残らなきゃね。

そう、自分を振り立たせて私は時計を見る。

開始まで残り42分

――3 菊池 慎太郎――

俺は笑っていた。

別に、狂って自我が崩壊したわけじゃない。

復讐ができると喜んでるだけだ。

だから、狂ってるわけじゃねえ!って言ってるだろうが!

「ゴホン」俺は仕切りなおしに咳をした。

俺はテレビのテロップを見ながら、奴の顔を思い出す。

あの、人を完璧に見下した態度が気に入らねえ。

俺の「革命」においては人を殺しても罪には問われない。

俺は早く開始されないかウズウズしていた。

開始まで残り38分

――4 手塚 響――

僕は眠い目をこすりながら、テレビのテロップを見る。
そこには紛れもない自分の名前があった。

「うわぁ、本当に僕の名前が載ってる」

ほとんど、棒読みで僕は言いながら隣で泣く母を見る。

母は「どうしてうちの響が」と繰り返しているが、

僕は特にどうも思わなかった。

母も僕的能力については知っているはずなのに。

どうしてなく、必要があるのだろう？と疑問を浮かべながら

「僕はもう一度寝てくるね。」と伝えて寝室に戻る。

そして、僕は「結界」を張り、眠りにつく。

開始まで残り22分

――5 戸田 奈津子――

――6 沼野 太平――

俺は泣く奈津子をなだめながら、テレビを消す。

これ以上見ていたら、俺自身もどうにかなりそうだったからだ。

そして、俺は奈津子に優しく言い聞かせるように言う。

「安心しろって。大丈夫、俺が奈津子を命に代えても守るから。」

「ダメだよ。こんな私のために太平が亡くなっちゃ嫌だよ。」

「何言ってるんだ。他の誰でもない奈津子のためだから俺は命を張れるんだ。」

それに、俺と奈津子があれば向かうところ敵無しだろ？」

俺は笑って問いかける。

「そうだね」とようやく奈津子の顔に笑顔が戻る。

そして、俺は考え始める俺の「フェザー」と奈津子の「ブリザード」
どうすれば逃げ切れるかを・・・

開始まで残り14分

一一七 文野 紀伊一一

一一九 宮川 礼二一一

私は一人屋上で彼を見ていた。

彼の名は宮川 礼二。

私と同じく不運にもこの「ゲーム」に強制参加

させられる者だ。そのうえ、彼には私と異なり能力を持っていない
まあ、「無能」の称号は持っているけど・・・

そんな彼が何をしているのかと言うと「落とし穴」を作っているの
だ。

いったいそれが何の役に立つのか全く分からないが、
体力の無駄遣いということとはわかる。

私としては、万が一にでも例の奴に見つかつたときのための
囷として使えるので、彼が目に見える範囲にいてくれるのは助かる。
私の「移動」は目に映っている対象しか効果はないのだから。

開始まで残り6分

一一一〇 カフ・ルーニ一一

もうすぐ開始されるナ。悪魔の「ゲーム」か。

生き残るのはこの私ナのだwww。

超加速^{アクセラ}だか、なんだかしらないケド、

結局は、生身の人間であることに変わりわないのサ。

生身の人間に対して私の「破壊」を使うのは

酷かもしれないネ。wwwwww。

開始まで残り2分

一一八 星 螢一一

「じゃ、姉ちゃんは出かけてくるね。」

私はまだ5歳にも満たない双子の弟妹に声をかける。

「姉ちゃんどこ行くの？」

事情がわからない弟妹は2人して無邪気な笑顔で返す

「ちょっとした、お出かけたよ。2人ともお父さんとお母さんの
いうことちゃんと聞くんだよ？」

「「わたち達も行く！」」

「ダメだよ。2人はお父さんとお母さんといっしょにいなさい。」

やんわりと弟妹たちを叱ってから父と母に声をかける

「じゃ、お父さん、お母さん2人をよろしくね。」

それと、今までありがとね。私絶対帰ってくるから」

それだけ言うと、私は家を飛び出した。

「ビィーーーーー! 只今より、鬼ごっこがスタートしました。」

鬼の方もそうでない方も頑張ってください。」

無情なスピーカーからスタートの合図が告げられた。

ゲーム終了まで残り60分 残り人数10人

鬼ごっこ 上(後書き)

次から鬼ごっこスタートです。
なお、不定期更新ですのであしからず。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6723y/>

遊びましょ！

2011年11月20日17時00分発行